

インタビュー
Interview

輝いている人 女性らしさが輝く職業に 女子力を消防へ



6月1日に東京で行われた第41回全国消防職員意見発表会に総社市消防から初めて出場したのが、柴田綾香さん。

消防職員意見発表会は、消防職員が業務に対する提言や取り組みべき課題などについて自由に発表し、一層の知識の研さんや意識の高揚を図ることを目的に、毎年開催されている。

発表テーマは、「女子力を消防へ」。女性を対象としたファイヤーガールズキャンプを開催し、消防を体で感じてもらうことで女性消防士の増加を目指すことを提言したが、惜しくも最優秀賞には届かなかった。

「人を助ける仕事がいっぱい」との思いから、高校卒業後に消防士の道を選んだ。男性消防士に交じって救急現場はもちろん、火災現場にも出動している。特に火

災現場では、重さ約20kgにもなる装備を身に付け消火活動にあたる。「体力では男性に劣るが、人の命をつなぎ留める現場の最前線に立つ誇りと勇気を忘れずに、気持ちで負けないようにしたい」と話す。

一方、救急現場では、「あなたみたいな女性の消防士がいて、安心しました。ありがとう」と女性の傷病者から声を掛けられたこともある。女性だからこそ与えられる安心感だ。

全国の消防士の女性の割合は2.6%。警察官や自衛官と比較しても低い。「まだまだ女性消防士の認知度は低い。消防は男性の職場のイメージが強いが、男性が多いからこそ女性らしさが輝く職業だと思う。諦めずにチャレンジしてほしい」と、これから消防士を目指す女性にエールを送った。

柴田 綾香さん

全国消防職員意見発表会に総社市消防から初出場した

4歳児発達支援事業



元気に砂場で遊ぶ園児。外遊びは健全な体力づくりやコミュニケーション能力の向上につながる

4歳児発達支援事業は、幼稚園・保育所（園）・認定こども園などに通う4歳児を対象に実施しています。子どもがもつ力をさらに伸ばし、生き生きと楽しく園生活が送れるよう、一人ひとりへの関わり方や指導について、教諭や保育士、保健師などが保護者と一緒に考えています。

家庭での様子や子どもへの気持ち、子育てへの不安などを保護者が記入した生活状況調査票を基に、保健師を含む相談支援チームが園を訪問し、集団生活での子どもの様子を確認。関わり方や指導内容を検討します。

園への訪問は、4歳児、5歳児と継続して実施。また、小学校入学時に学校生活にスムーズになじめるよう、学校訪問も行っており関係機関の連携を進めています。

問い合わせ こども課母子保健係（☎② 8261）

チュッピー子育て
ほっとメール

kosodate@city.soja.okayama.jp

子育ての相談をしたくても時間がとれない人、窓口で相談しにくい人の悩みに、チュッピーと職員・保健師が答えます。



学校給食 おすすめレシピ

あなご丼



- 材料（4人分）
 ●あなごの蒲焼き…100g ●タマネギ…100g ●ゴボウ…60g
 ●ニンジン…40g ●こんにゃく…40g ●油揚げ…30g
 ●葉ねぎ…20g ●ショウガ…1かけ
 ●調味料…しょうゆ=大さじ1と1/3、砂糖=小さじ2
 みりん=小さじ1、酒=小さじ1
 和風だし=小さじ1/3、水 200ml

作り方

- ①ショウガはみじん切り、ゴボウはささがき切りにして水にさらす。タマネギとニンジンは千切り。葉ねぎは小口切り。油揚げは油抜き、こんにゃくはあく抜きし、短冊切り。あなごは縦に半分、横に5mm幅に切る。調味料は混ぜ合わせておく。
 - ②フライパンにサラダ油を熱し、ショウガを炒めて香りが出たら、ゴボウ、タマネギ、ニンジンを炒める。さらにこんにゃくを入れて炒め、水を入れて煮る。
 - ③野菜に火が通ったら、あなごと油揚げを入れ、調味料で味をつける。
 - ④③に葉ねぎを入れて仕上げる。
- その他の献立 牛乳、たくあん和え、水まんじゅう

